

製品名: PSD95 (13H1) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16592**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50,IF-P 1:50-1:200
分子量	81kDa

抗原情報

遺伝子名	DLG4
別名	DLG4; Disks large homolog 4; PSD95; SAP90; Synapse associated protein 90;
遺伝子 ID	1742.0
SwissProt ID	P78352
免疫原	ヒト PSD95 の組み換えタンパク質

背景

NMDA 受容体サブユニットの細胞質尾部およびシェイカー型カリウムチャンネルと相互作用する。NMDA 受容体シグナル伝達に関連す

るシナプス可塑性に必要。DLG4 の過剰発現または枯渇は、海馬ニューロンにおける興奮性シナプスと抑制性シナプスの比率を変化させる。重要なシナプスタンパク質のシナプス後クラスタリングのためのプラットフォームを提供することにより、シナプス形成およびシナプス可塑性において重要な役割を果たすシナプス後足場タンパク質。NMDA 受容体サブユニットの細胞質尾部およびシェイカー型カリウムチャンネルと相互作用する。NMDA 受容体シグナル伝達に関連するシナプス可塑性に必要。DLG4 の過剰発現または枯渇は、海馬ニューロンにおける興奮性シナプスと抑制性シナプスの比率を変化させる。チャンネルを細胞内に保持することにより、ASIC3 酸誘発電流の振幅を低下させる可能性がある。ADR1B の細胞内輸送を制御する可能性がある。また、シナプス後密度における AMPA 型グルタミン酸受容体 (AMPA) の固定化を調節し、グルタミン酸が存在する場合にチャンネルを活性化状態に保ち、シナプス抑制を防止します。

研究分野

ハンチントン病;

画像データ

RM4408 を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物をウェスタンプロット分析しました。

